

1 単元名 「おかいものごっこをしよう！」

2 単元について

(1) 学級の様子

本学級は、知的障害学級と、自閉・情緒障害学級がある。学習は、個々の課題に合わせた内容をクラスごと個別に指導する時間と、両クラス合同で指導する時間を設定している。今年度、通常学級より転級してきた児童が加わり、新たな関わりが増えた中で生活している。どちらの学級でも、集団で学習する中で友達の様子を見て、意欲をもって学習に向かうようになってきている。また、力の差はあるものの、全員が言葉を介して関わり合うことができる。その一方で、個々のこだわりの強さも様々で、関わり合いが上手にできない児童や、他人に見られることで学習に集中できない児童も在籍している。

(2) 算数では

数を唱える、具体物を数える、数字をなぞる、色や形の弁別や1対1対応の課題など、初歩的な内容を行う児童から、教科書やドリルに沿った学習を進める児童がいる。主に2学年の内容を中心に行っている。基本的には、両クラス合同で学習し、授業後半にクラス別の課題に取り組む形式をとっている。合同で一斉に指導する時間には、個々の進度や興味関心を考慮しながら、日常生活に必要な事柄を取り上げて、身近な具体物を操作する活動をしている。

今年度はこれまでに数えるということに着目し、「たし算とひき算」「かさ」「100をこえる数」を行ってきた。お金の学習については、数える際の数え方（2とびや5とび、10のまとまり作り）、ボウリングや玉入れなどのゲーム性を含んだ活動を通して、数えるという活動に慣れてきた。同じように、お金の数え方にも注目させていきたいと考えた。

(3) 本単元について

本単元は、「買い物遊び」を題材に進めていく。特別支援学校小学部学習指導要領の算数科の目標は「具体的な操作などを通して、数量や図形などに関する初歩的なことを理解し、それらを扱う能力と態度を育てる。」である。また、お金の学習について「必要に応じて生活科の指導内容との関連を図り、算数科で取り上げて指導することも大切である。」と明記されている。このことから、算数科の学習から、具体的な操作活動を通して理解したことを、日常生活に活用していく態度を育てていくことが大切だと考えた。

日常生活や学校生活において、家族と買い物をしたり、校外学習で公共交通機関を利用したりと、お金を扱う機会がある。また、お店や自動販売機などに児童が欲しい物があり、買い物の学習は児童が興味や関心を持ちやすく、より身近なものである。そこで、正しい金額を支払うことを実践的な活動を通して理解させていく必要があると考えた。

お金の学習は、人が生活していく上で欠かせないものである。欲しいものを手に入れるためには、「お金」が必要であること、品物とお金の等価交換があつて初めて品物を手に入れることができること、品物には、決まった「ねだん」があるということなどに気づかせ、個々の課題に繰り返し取り組むことで、力が身につけていくのだと考えている。

本単元では、お金についての児童一人一人の実態に合ったステップでこれらの力を身に付けることをねらいとしている。全体学習では、1組と2組が買い手と売り手に分かれて活動し、お金を出して品物を買う仕組みや楽しさを知る消費者目線と、物を売ることでお金が手に入り、売り上げを集計していく販売者目線を味わいながら活動できる授業展開を考えている。また、児童の活動の支援として、個の実態に応じた値札を利用し、視覚からの情報も与えていきたい。みんなで進める楽しさを味わうことができる全体学習を心掛け、そのエネルギーを使ってグループ学習にも取り組んでいきたい。

High グループでは、買った物の合計金額を計算したり、売上金から硬貨のまとまりを作って、両替したりする活動をする。**Low** グループでは、個の実態に応じた値段を提示して、支払う練習を繰り返したり、提示された硬貨と同じものを選び取る「硬貨取り競争」をしたりする活動をする。このグ

ループ学習を通して、計算する力やお金の価値についても学ばせていきたい。

<実態調査から>

- ・全員家族とよく買い物に出かけており、完璧にはないがお金の扱い方を理解している児童や、買い物には行くが、お金にはほとんど触れたことがない児童もいることが分かった。

3 研究主題との関わり

楽しい授業をつくるための支援・指導の工夫

(1) 個の実態に応じた値札の工夫

指導にあたって、児童の活動の支援として個に応じた値札の工夫が必要だと考える。本学級の児童は、数の実態において大きな差があり、数字の理解や読み取りを難しいと感じる児童がいる。そこで、一人一人の実態や目標に応じた値札を用意することで、児童がより学習内容を理解しやすい教材が大事であると考えた。

<Low>最初は数字の値札を読み取らせ、提示された硬貨と同じ金額の硬貨を出させる。 A 児

値札に提示された硬貨と同じ金額の硬貨を出させる。 B 児

最初は数字の値札を読み取らせ、裏側で硬貨を提示し、同じ金額の硬貨を出させる。 C 児

<High>値札に提示された金額（3位数）を読み取ったり、値札通りのお金を選び取ったりさせる。

値札に提示されている数字を読むことや、提示された硬貨と同じものを選び取ることが目標の児童が多くいる中で値札を工夫することは、有効な手立てであると考えている。

(2) 売り手と買い手

<売り手>

本時では、「おかいものごっこ」をするために買うだけでなく、売るという経験を生活単元学習との関連を図りながら進めていく。当然日常生活の買い物では、物を買うことが主体的になる。しかし、売る立場になることで、コミュニケーションが取れたり、おつりや売上金の計算をしたりする活動をすることができる。買うだけでなく、売るという立場でもお金に関わっていけるようにしたい。また、児童が意欲をもって活動できるように、売上金を売り手のお小遣い（給料）に反映させ、そのお小遣いを使って実際のお店へ買い物に行かせたい。自分が稼いだお金で、欲しい物を買うという経験も積みまけていきたいと考えている。また、買い物がしたくなるように、児童が興味のもてる商品の工夫もしていきたい。

本学級の児童は、学級にあるジョイントブロックを使いよく遊んでいる。工夫してブロックを組み合わせ、建物や動物など様々な形を作り出すことが得意である。そこで、自分でどのような物が売れるのかを考え、商品作りをさせる。そして、自分の作った商品が売れる喜びが感じられるようにしたいと考えている。

<買い手>

買い物には行くが、自分では支払いをしたことがない児童がほとんどである。そこで、繰り返し買い物の経験を積むことで、自分の力で支払うことができるようにさせていきたい。そのために、買い手時では個々の実態に応じて財布に入れる金額や、金種を変えていく。個々の実態に応じて、財布に入れる硬貨の枚数の増減を調節したり、金種ごとの枚数に差をつけたりすることで、児童が円滑に買い物できると考えた。自分で買えた経験を積んでいくことで、買うことに対する自信に繋げていける

と考えている。

4 指導計画（10時間扱い）

		全体学習の内容	グループ学習の内容
1	買い物 物体験	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の店で買い物をする。 ・丁度の金額で買い物をする。 	<p>(H) 1円5枚⇔5円、10円5枚⇔50円、50円2枚⇔100円 100円5枚⇔500円の両替を学習する。</p> <p>(L) 硬貨を見せ、名前と金額を確認する。</p> <p>(L) お買い物練習をする。</p>
2			
3			
4	買い物ごっこをしよう 9時間目まで	<p>お店 (H)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんでの自分の役割を覚える。 ◇お客さんが品物を選んだら、そのお客さん用の値札を出し、値段を読んで伝える。(F児) ◇値段を聞いて、お金の出し方の手がかりシートをお客さんに提示する。(G児) ◇品物と値札を受け取り、金額が合っているか確認して代金を受け取る。(E児) ◇受け取った代金をトレーに仕分けし、レシート係に報告する。(D児) ◇代金を聞いてメモ用紙に書き、レシートを渡す。(H児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・売り上げの合計の確認の仕方を覚える。 ①売上金をトレーに仕分けする。(D児) ②値段を聞いて式を書き、電卓で計算する。(F児) ③計算シートに書き写し、合計金額を筆算で計算する。(E児・H児) ④D児が分けたトレーを見て、両替する。(G児) ⑤①～④の値を発表し合う。
		<p>お客 (L)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値札を読み、提示された硬貨と同じ金額を支払う。(A児) ・提示された硬貨(値札)を見て、同じ金額を支払う。(B児) ・値札を読み、提示された硬貨と同じ金額を支払う。(C児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・買ったものとレシートがあるかを確認する。 ・買ったものと値段を発表する。 ・お買い物練習をする。
5		<p>お店 (H)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんでの自分の役割を覚える。 ◇お客さんが品物を選んだら、そのお客さんのボードで値段を提示し、お金を出すよう働きかける。(E児・F児) ◇金額が合っているかを確認して代金を受け取る。(G児) ◇受け取った代金をトレーに仕分けし、レシート係に報告する。(D児) ◇代金を聞いてメモ用紙に書き、レシートを渡す。(H児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・売り上げの合計を確認する。 ①売上金をトレーに仕分けする。(D児) ②値段を聞いて式を書き、電卓で計算する。(F児) ③計算シートに書き写し、合計金額を筆算で計算する。(E児・H児) ④D児が分けたトレーを見て、両替する。(G児) ⑤①～④の値を発表し合う。 ・両替の仕方を話し合う。
		<p>お客 (L)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・硬貨のマークと数字の表示を見て、同じ硬貨を出して支払う。(A児) ・提示された数字を見て、硬貨を数えて出して支払う。(B児) ・値札を読み、同じ金額の硬貨を出して支払う。(C児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・買ったものとレシートがあるかを確認する。 ・硬貨取りゲームをする。 ・お買い物練習をする。

6 (本時)	お店 (H)	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんで自分の役割の活動をする。 ◇お客さんが品物を選んだら、そのお客さんのボードで値段を提示し、お金を出すよう働きかける。(E児・F児) ◇金額が合っているかを確認して代金を受け取る。(G児) ◇受け取った代金をトレーに仕分けし、レシート係に報告する。(D児) ◇代金を聞いてメモ用紙に書き、レシートを渡す。(H児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・売り上げの合計を確認する。 ①売上金をトレーに仕分けする。(D児) ②値段を聞いて式を書き、電卓で計算する。(F児) ③計算シートに書き写し、合計金額を筆算で計算する。(E児・H児) ④D児が分けたトレーを見て、両替する。(G児) ⑤①～④の値を発表し合う。 ・筆算練習をする。
	お客 (L)	<ul style="list-style-type: none"> ・硬貨のマークと数字の表示を見て、同じ硬貨を出して支払う。(A児) ・提示された数字を見て、硬貨を数えて出して支払う。(B児) ・値札を読み、同じ金額の硬貨を出して支払う。(C児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・買ってきたものとレシートがあるかを確認する。 ・硬貨取りゲームをする。 ・お買い物練習をする。
7	お客 (H)	<ul style="list-style-type: none"> ・品物を選ぶ。 ・値札を見て、硬貨を選び取り、丁度の金額を支払う。 ・品物とレシートを受け取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品物を見せ合い、レシートの値段を読み上げる。 ・買い物の合計を計算する練習をする。
	お店 (L)	<ul style="list-style-type: none"> ・品物の写真が付いた値札を選んで提示する。(B児) ・値札と客が出した金額が同じか確認する。(C児) ・お代を受け取り、商品とレシートを渡す。お代は、硬貨ごとの箱に仕分ける。(A児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・売上金ボックスに正しくお金が仕分けられているかを確認する。 ・金種を読み上げ、枚数を数える。 ・硬貨取り競争をする。 ・お買い物練習をする。
8	お客 (H)	<ul style="list-style-type: none"> ・所持金内で買える複数の品物を選ぶ。 ・お店の教師から合計金額を聞いて、硬貨を選び取り、丁度の金額を支払う。 ・品物とレシートを受け取る。 	※7時間目と同様。
	お店 (L)	※7時間目と同様。	※7時間目と同様。
9	お客 (H)	※8時間目と同様。	※8時間目と同様。
	お店 (L)	※8時間目と同様。	※8時間目と同様。
10		・近くのお店に買い物に行く。	

5 本時の学習

(1) グループ別の目標

Low・丁度でお金を支払って、商品を買うことができる。

High・自分の役割に取り組み、2組ストアを成功させる（品物を売り、正しく代金を受け取り、お金と売上金額を一致させる）ことができる。

(2) 個別の目標と手立て

		本単元の目標	本時の目標	本時の目標に対する手立て
Low	A	・提示された値札の金額を読み取り、硬貨を選び支払うことができる。	・値札の金額（2位数）を読み取り、提示された金額を支払うことができる。	・「～円は何枚いるの？」と言葉掛けをし、答えをイメージしやすくする。 ・違う硬貨を選んだ時は、手がかりシートを提示する。
	B	・1位数の金額を読み取り、支払うことができる。	・提示された値札の1位数の金額を、正しく支払うことができる。	・金額の3位数と2位数は、マッチングで選び取らせる。 ・違う枚数出した時は、手がかりシートを使い視覚的枚数がわかるようにする。
	C	・提示された値札の金額を読み取り、硬貨を選び支払うことができる。	・値札の金額（3位数）を読み取り、提示された金額を支払うことができる。	・違う硬貨を選んだ時は「～円だから、まず～円が何枚？」と言葉掛けをして、落ち着いて支払うよう促す。 ・違う硬貨を選んだ時は、手がかりシートを提示する。
High ※上段は客・下段は店またはグループ学習時の目標	D	・値札通りのお金を選び取って支払うことができる。	・お金を見て金額を言い表すことができる。	・トレーに金種ごとにお金を整理させ、読み上げ方を示す。
		・お金を見て、金額を言うことができる。（3位数）		
	E	・持っているお金の範囲で品物を選ぶことができる。	・合計の計算の式を立てたり、筆算で計算したりできる。	・事前にたし算の筆算の計算方法を学習する。既習を活用できるように、ワークシートを用意する。
		・売上げの合計を計算することができる。		
	F	・値札通りのお金を選び取って支払うことができる。	・品物の値段を読み上げたり、金額を聞いてワークシートに書いたりすることができる。	・補助線を入れた位取りトレーを見せて確認する。
・金額（3位数）を正しく読み書きすることができる。				
G	・持っているお金の範囲で品物を選ぶことができる。	・5枚や10枚のまとまりになった硬貨を両替することができる。	・D児が仕分けたトレーを見て、硬貨のまとまり（5や10）に注目するよう促す。	
	・両替ができるようになる。			
H	・持っているお金の範囲で品物を選ぶことができる。	・売上げの合計を計算し、計算の答えとお金を一致させて確かめることができる。	・立式する際、レシートの控えを使うよう、手順を示す。	
	・売上げの合計を計算することができる。			

(3) 展開 (6/10)

時配	学習活動と内容	教師の指導・支援 (・) と評価 (☆)	資料・教具
5	1 本時の活動を知る。	(T1) ・ 始まりの挨拶の後に、前時までの買い物学習について復習する。	
	2 本時の学習問題を知る。	(T1) ・ 活動の流れを掲示する	
	おかいものごっこをせいこうさせよう		
5	3 準備をする。 High ・ 隣教室の2組に移動し、2組ショップの開店準備をする。 ①商品を陳列する。 ②値段係は値段表を確認する。 ③挨拶や品物の紹介の仕方を打ち合わせる。 ④1組(買い手)を呼びに行く。 Low ①持ち物の確認をする。 ・ 財布を持ち、中身が入っていないことを確認する。 ②お小遣いをもらい、財布にしまう。 ・ 一人ずつ順番にもらい財布にしまう。 ③呼ばれたら2組へ移動する。	(T2) ・ 児童と共に2組へ行き、準備をする。 ・ 今日の品物の値段を伝えて、個々に必要な準備に取り組むよう促す。 (T1) ・ 教師と一緒に持ち物を確認する。 (T1) ・ お小遣いを渡し、財布に入っている金種を、一人ずつ指名して言わせる。 10円・・・A児 1円・・・B児 100円・・・C児	机 かご ボード (A33円、 B113円、 C412円) トレー メモ用紙 ペン ブロック (商品) 模擬銭
15	4 「おかいものごっこ」をする。 High ① 値段を告げ、ボードにお金を出して支払の用意をするよう促す。	・ F児が読み方を迷っていたら、値札にシートを重ね、ヒントを伝える。 <u>☆値段を正しく読み書きし、伝えることができる。(F児)</u>	本日の値段表

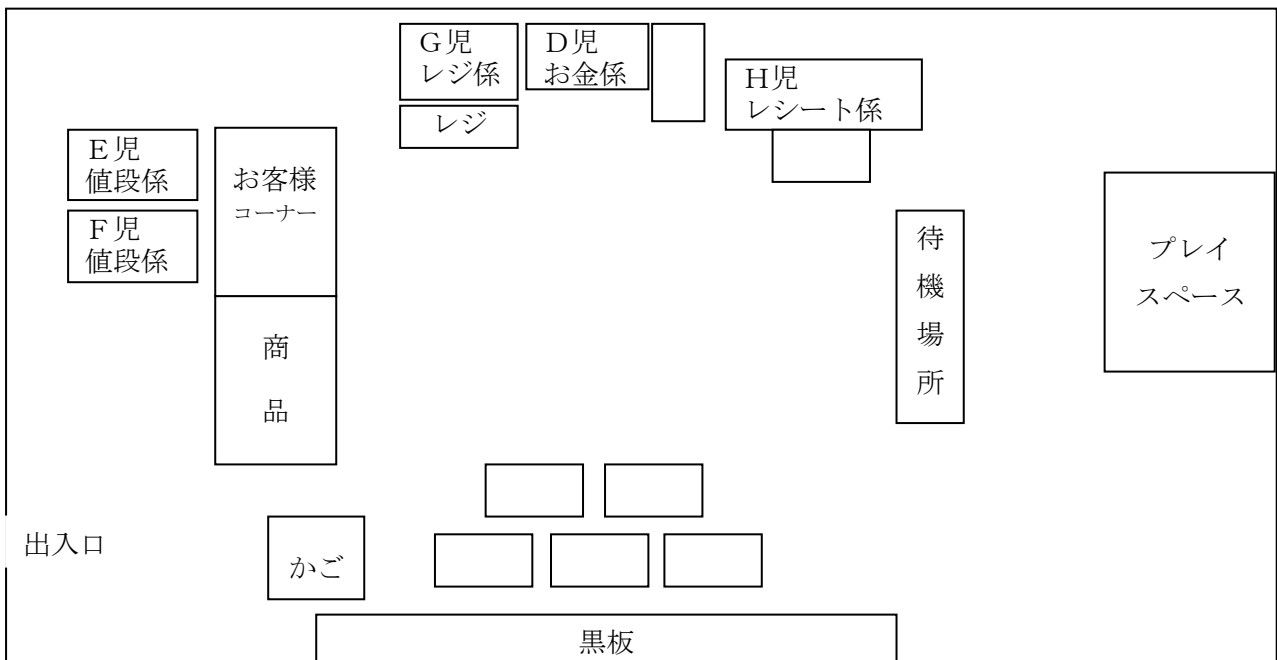
<p>②お金を受け取る。</p> <p>③お金をトレーに入れる。</p> <p>④レシートを渡す。</p> <p>Low</p> <p>①全員一緒に商品を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の欲しい商品の一つ選ぶ。 ・商品はカゴに入れる。 <p>②A児→B児→C児の順番で買い物する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員の買うものが決まったら、レジに並ぶ。 <p>③値札の金額を支払う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁度でお金を支払う。 <p>④買ったものは自分のかごに入れ、レシートは財布にしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物が終わったら、待機場所に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・G児に受け取ったお金を数えさせ、値段係の言った金額と一致しているか、確認させる。 ・D児に、仕切りの付いたトレーにお金を仕分けさせる。 <p><u>☆トレーのお金を見て、正しく金額を言うことができる。(D児)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H児はD児の報告を聞き、レシートに金額を記入し(上下2か所)、下の部分をお客さんに渡すよう、事前に説明する。 <p>(T1)・全員の買うものが決まったら、レジ前に並ばせる。</p> <p>(T1)・A児とB児がお金を支払う際、落ち着いて硬貨を選ぶように促す。</p> <p><u>☆値札の金額(2位数)を読み取り、提示された金額を支払うことができる。(A児)</u></p> <p>(T1)・B児が支払う際に、3位数と2位数は、マッチングで出させる。</p> <p><u>☆提示された値札の1位数の金額を、正しく支払うことができる。(B児)</u></p> <p><u>☆値札の金額(3位数)を読み取り、提示された金額を支払うことができる。(C児)</u></p> <p>(T1)・正しく支払えたことを褒め、待機場所に移動させる。</p>	<p>仕切りトレー</p> <p>メモ用紙</p>
--	---	---------------------------

<p>1 5</p>	<p>5 グループ学習をする。</p> <p>High</p> <p>①売上金をトレーに仕分けする。</p> <p>②今日の売上げを計算する。</p> <p>③売上金を確認する。</p> <p>Low</p> <p>①買ってきたものとレシートを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レシートは財布の中にしまっているかを確認する。 <p>②自分の買ってきたものを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A児→B児→C児に順に発表する。 ・買ってきた商品は、教卓の上に置く。 <p>③硬貨取りゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が提示した硬貨と同じ硬貨を、財布の中から選び取る。 ・硬貨の値段を発表する。 ・金種ごとに分けて硬貨を箱に片づける。 <p>④お買い物練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のホワイトボードに硬貨を出して金額を作る。 <p>A児 40円、43円 B児 12円、23円 C児 231円、※220円 (※はホワイトボードを使わない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・D児が仕分けている様子をG児に見せ、枚数に注目させる。 <p><u>☆D児が仕分けたトレーを見て両替して入れ替えることができる。(G児)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H児にレシートを読み上げさせる。ワークシートに記入し、計算する(E児・H児)。計算の仕方がわからない時は、教師がお金の絵をかいて説明する(F児)。 <p><u>☆売上金の合計を計算する。お金と照らし合わせて確かめることができる。(E・H児)</u></p> <p>(T1)・1組へ素早く移動するよう促す。</p> <p>(T1)・正しく買い物ができることを褒める。</p> <p>(T1)・「じゃあ、これと同じは？」と言って硬貨を提示する。</p> <p>(T1)・指名して発表させる。</p> <p>(T1)・同種ではない場所に硬貨が入っていたら、B児に正しい場所へ仕分けさせる。</p> <p>(T1)・個々に用意した値札を見せて金額を作らせる。</p>	<p>ホワイトボード ボードマーカー</p>
------------	--	---	-----------------------------

5	6 学習のまとめをする。 ・ 1組に集まる。 ・ 本時のまとめの話を聞く。 ・ 次時の予告を聞く。	(T2)・2組児童を移動させる。 (T1)・本時の目標が達成できたかを聞き、自分の役割をこなしていたことを褒める。 (T1)・High グループの学習の様子を T2 に聞き、Low グループでの学習についての様子を伝える。 (T1)・次時から、Low グループがお店をすることを伝える。	
---	--	--	--

(4) 配置図

・ 2組図



・ 1組図

